

青木宣純 あきまのぶみ 陸軍軍人。安政六年九月十九日日向國佐土原藩生れ、大正十一年十二月十一日没（一八五九—一九三三）。幼名平太郎。藩費學習館に學ぶ。明治七年上京、川上操六の門生となり、傍ら藤井善吉の私塾でフランス大語を修む。十二年士官學校卒。三十年北京公使館附となり特務機關の任務に就く。また袁世凱の顧問となり、義和團事件では柴五郎中佐と共に活躍。三十五年大佐に進み、三十七年、いは民間からも横川省二等を起用して特別任務班を編成指揮、日露初戦の裏工作に當る。大正二年中將、六年敍元洪大總統の最高軍事顧問。没後勳一等旭日大綬章。

佐藤垢石によつて傳記小説が書かれ、昭和十七年上海の『大陸新報』に連載、のち『謀略將軍青木宣純』（昭和十八年三月二十日墨永書房）として

題して刊行。

